



東京立川ロータリークラブ

2019.3.22 第2832回 例会

Weekly Report



宮田修会友とプレブスレン ナランバヤル校長先生、そして本日の卓話講師名越利昭様を囲んで

【司会進行】

SAA委員会 津田宣秋副委員長

【開会点鐘】 清水淳一会長

【ロータリーソング斉唱】

『我らの生業』

【お客様の紹介】 清水淳一会長

【会長挨拶】 清水淳一会長

【お客様挨拶】

【退会挨拶】 齊藤 仁さん

【次年度PETS報告】

長井 守会長エレクト

【入会セレモニー】

【幹事報告】 平井洋孝幹事

【委員会報告】

親睦委員会 三浦 哲委員長

【ニコニコ発表】

親睦委員会 堀越 豊委員

【卓話】 東京消防庁 立川警察署

警防課 課長補佐兼地域防災担当

係長 消防司令 名越利昭様

【閉会点鐘】 清水淳一会長

3月22日(金)	会 員 数	114名
	出席義務会員	104名
	出席免除会員	10名
	当日出席者	94名
	出席免除会員の当日出席者	4名
	出席率	87.03%
3月8日の出席率		85.57% → 96.19%

【会長挨拶】 清水淳一会長

本日はタイトなスケジュールですので、会長挨拶も来週より時間を取らせて頂きたいと思っておりますので、ご容赦下さい。今週はなんとと言ってもイチロー選手の引退の話題が一番だと思いますが、今は春のお彼岸の真っ最中です。東日本大震災から8回目の彼岸を迎えておりますが、震災直後の福島原発の事故の際、東京消防庁の第3ハイパーレスキュー隊に配属されていたのが本日の卓話講師である名越様です。ハイパーレスキュー隊はご存知の通り特殊救助隊であり、原発事故の直後に福島原発へ派遣され最前線で活躍されましたが、その活動をご紹介します。皆様もとても敏感に感じる内容ではないかと思っておりますので、是非ご期待ください。



清水淳一会長



新会員の小川貴志さんと杉森創さんを囲んで

【お客様の紹介】 清水淳一会長

プレブスレン ナランバヤル様(新モンゴル学園高等学校 校長)

宮田 修様(会友)

中野隆右様(東京立川こぶしロータリークラブ)

野村芳樹様(東京昭島ロータリークラブ)

【卓話講師】名越利昭様(東京消防庁 立川警察署 警防課 課長補佐兼地域防災担当係長 消防司令)

2018~2019年度 RIテーマ

2018~2019年度
国際ロータリー会長
バリ・ラシ



インスピレーションになる

2018~2019年度 クラブテーマ

「一期一会
ロータリー」

東京立川ロータリークラブ
会長 清水淳一



司会進行
津田宣秋副委員長



ニコニコ発表
堀越 豊委員



例会時には必ずバッジをつけましょう

【お客様挨拶】 宮田 修様(会友)

3年半前までクラブに所属しておりました。今回は当クラブから多額のご寄付を頂戴しております、新モンゴル学園のナランバヤル校長が来日しておりましたので、直接御礼をとの事で出席させて頂きました。当クラブのご理解とご協力には大変感謝をしております。



プレブスレン ナランバヤル様

(新モンゴル学園高等学校 校長)

私たちは東アジアの平和の為に、人材を育てて行きたい、ひいては世界平和に貢献する人材を育てたいとの思いから設立させて頂いた学校です。しかしその思いだけでは足りません。そこには3つの条件があるとされています。一つ目は良い先生に出会う事、二つ目は良い本に出会う事、三つ目は自然の素晴らしい場所、景色がなければいけないという事です。モンゴル大草原もあり、自然も豊です。良い先生達も沢山います。しかし良い本を集めるのは大変です。皆様からは2015年より毎年多額のご寄付を頂き購入した書籍で、子ども達や先生も大変喜んでおり、毎日感謝しております。本日は感謝の機会を頂戴しましたので感謝状を持参しており、読み上げさせていただきます。



東京立川ロータリークラブ会長 清水淳一殿
貴クラブはモンゴル学園小中高一貫学校の教育に対する深いご理解の元 2015年以来多額の図書費をご寄付され本校生徒の学習活動に多大なる貢献をされましたよってここに深く感謝の意を表します
2019年3月 新モンゴル学園小中高一貫学校校長
プレブスレン ナランバヤル



【退会挨拶】 齊藤 仁さん

2017年9月に当クラブに入会させて頂きましたが、この度社命により名古屋に異動となり、残念ながら3月をもって退会とさせていただきます。昨年度は親睦委員会、本年度はプログラム委員会という事で、当クラブの真髄であるところの委員会で活動させて頂きました。次の名古屋は、パレスホテル様に少し関係がある所ですが、名古屋ヒルトンに行きます。そこでは名古屋ロータリークラブに入会させて頂く予



定ですので、当クラブでの経験を少しでも活かせるのではないかと考えております。また金松会員からは、ホテルとは何ぞやという個人レッスンも受けさせて頂きまして、心強く思っております。今後の当クラブの益々のご発展を祈念して退会挨拶とさせていただきます、有難うございました。

【次年度PETS報告】 長井 守会長エレクト

先週14~15日、東京グランドハイアットにおいて会長エレクト研修セミナーが開催されました。無事に修了証とネクタイとバッジを頂きましたので報告させていただきます。14日は朝9:30から次年度浅田ガバナーから1時間の研修を受けました。RI会長はマーク・ダニエル・マローニーさんで、アメリカのアラバマ州の出身だそうです。RIのテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」で、地区運営方針としては、5,000人の仲間をつなぐロータリーという事で、第2750地区は当初4,780名ですがこれを5,000名という事で会員増強したい意向で、17:30まで約20名の方にご講演を頂きました。次の日は朝9:30から8テーブルに別れ、3つのテーマ、ロータリーの奉仕、会員増強、クラブ戦略計画の重要性という事で、それぞれのテーマで30分ずつ講演され、各テーブルでのワークショップの後に発表があり、15:00に終了致しました。その後終了書を頂戴し、最後に浅田ガバナーは最初より終わった後の方が皆様清々しい顔をしていると話されていましたが、実際は疲れきっていてその様には見えませんでした。いずれにしてもこれでようやく次年度動き出す事が出来ます。次年度は創立60周年という事で、会員の皆様のご理解とご協力なくしては成り立ちませんので、本年度に引き続きご協力頂きます事をお願いして、報告とさせていただきます。



【入会セレモニー】 新会員紹介 中野裕司さん

本年1月最終例会まで在籍されていた、日本旅行の竹内さんがご栄転されましたので、その後に東京多摩支店支店長として赴任されました小川貴志さんに継続してご入会いただきました。昭和43年2月生まれ、魚座O型の50歳です。住所は神奈川県海老名市ですが、電車で2時間かけて通勤されております。ご家族は奥様とお二人の娘様です。中央大学卒業後日本旅行に入社されました。趣味はスポーツ観戦・音楽鑑賞という事です。



入会者挨拶 小川貴志さん

この度は中野様・長井様のご紹介を頂き、伝統と格式ある東京立川ロータリークラブに入会させて頂き、誠に有難うございます。1月1日の辞令により立川勤務となりましたが、それまでは宇都宮に勤務しておりました。その際ロータリークラブには入会していませんでしたので初めてのロータ



りですが、皆様のご指導を頂戴出来ればと思います。前任の竹内からは、仕事は厳しかったがロータリーは楽しかったと引継ぎを受けておりますので、その言葉を信じて会長のテーマである一期一会という事で、今日の日を忘れずに頑張ってお参りたいと思います。宜しくお願い致します。

配属：親睦委員会 アドバイザー：中野裕司会員

新会員紹介 中山賢一さん

昭和52年5月生まれの41歳で砂川在住です。(株)創コーポレーション代表取締役をされており、立川・武蔵村山・東大和・福生・小平・青梅で沖縄料理店を経営されております。ご家族は奥様と長女の3人家族です。中学校時代野球部に所属し、投手で一番打者として活躍され、香川県の観音寺中央高校野球部に入り、寮生活が始まりました。その中1995年に甲子園初出場初優勝のメンバーでした。その夏の大会でも甲子園出場を果たしました。



入会者挨拶 杉森 創さん

ご紹介頂きました通り、飲食店を営ませて頂いております杉森です。この度は伝統と格式ある東京立川ロータリークラブに入会させて頂き、誠に有難うございます。自身は人相が悪いので入会できないと言われておりましたが、先輩方のお力で無事入会させて頂く事が出来ました。これからも人として更に成長できるよう、一步一步頑張ってお参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。



配属：会報委員会 アドバイザー：中山賢一会員

【幹事報告】 平井洋孝幹事

●バギオ便りを各メールボックスに配布済。●多摩中グループ インターシティーミーティング開催は、4月5日までの登録。●来週25日、第11回多摩中グループ協議会、国立市 鍋一にて開催予定。



【委員会報告】 親睦委員会 三浦 哲委員長

第2回三日月会ですが、50名を超える登録を頂いております。26日は桜も見ごろとなり、国立駅前の焼肉亭いなみを貸し切った開催となります。窓からはライトアップされた満開の桜がご覧頂けると思います。18:30より三時間を予定しておりますので、遅刻早退も問題ありませんので、宜しくお願い致します。



【ニコニコ発表】 親睦委員会 堀越 豊委員

●宮田 修会友 久しぶりに皆様にお目にかかる事が出来、大変嬉しく存じます。新モンゴル学園に毎年ご寄付を頂き、深く感謝致しております。
●清水淳一会長 卓話の講師でいらっしやいます、東京消防庁 立川警察署 警防課課長補佐兼地域防災担当係長 消防司令 名越利昭様、お忙しい中お越し頂き有難うございます。会友であります宮田 修様、新モンゴル学園高等学校 校長プレブスレン ナランバエル様のご訪問、歓迎致します。どうぞ最後まで楽し

んでいって下さい。新会員になられた、小川貴志さん、杉森 創さん入会おめでとうございます。どうぞ宜しくお願い致します。

- 平井洋孝幹事 宮田さん、新モンゴル学園プレブスレン ナランバエル校長先生、ようこそお越しくださいました。小川貴志さん、杉森 創さん入会おめでとうございます。齋藤 仁さん栄転先でのご活躍を祈念致します。名越利昭様、卓話よろしくお願致します。
- 岡部直士さん モンブラン・マッターホルンの周りを滑ってきました。氷河の溶けには毎年ビックリです。地球温暖化には歯止めをかけないとダメです。
- 中野裕司さん 小川貴志さん、本日は入会おめでとうございます。竹内さんの後、頑張ってください。ロータリーライフをお楽しみ下さい。
- 田中宏明さん・町田 弘さん・市原聖功さん・横手好一さん 会友宮田 修さん、新モンゴル学園高校校長プレブスレン ナランバエルさん、ようこそいらっしやいました。田中宏明会長年度のモンゴル訪問の際には、大変お世話になりました。有難うございました。
- 杉森 創さん 伝統と格式ある、東京立川ロータリークラブに入会させて頂き有難うございます。今後とも宜しくお願い致します。
- 小川貴志さん 本日入会となります。未永く、宜しくお願い申し上げます。
- 長井 守さん 3月14日～15日PETS(会長エレクト研修セミナー)を受け、修了書を頂いてまいりました。これで、次年度会長をやらせて頂ける事になります。会員の皆様におかれましては、今年度同様に、ご指導ご鞭撻ご協力の程、宜しくお願い致します。
- 長井 守さん 会友の宮田 修さん、プレブスレン・ナランバエル校長様、ようこそお越しくださいました。新会員の小川貴志さん、杉森 創さんの入会を歓迎致します。
- 横手好一さん 小川貴志さん杉森 創さんの入会を歓迎致します。おおいにロータリーを楽しみましょう!!
- 中山賢一さん 会友宮田 修様、新モンゴル学園校長プレブスレン・ナランバエル様、ご無沙汰しております。杉森 創さん入会おめでとうございます。
- 田中 太さん 杉森 創さんの入会を歓迎致します。
- 山下 明さん 杉森さんの入会を歓迎致します。
- 織原寛一郎さん ナランバエル様、宮田さんのご来訪を歓迎します。
- 鈴木孝一さん 立川消防署警防課、消防司令、名越利昭様、本日の卓話楽しみにしています。
- 三浦 哲さん 杉森 創君、東京立川ロータリークラブにご入会誠にめでたうございます。一緒に楽しみましょう。
- 金子幹広さん 杉森さんのご入会を歓迎して。
- 渡辺博昭さん 杉森 創さんご入会おめでとうございます。ロータリーライフを楽しんで下さい。
- 松浦孝治さん 本日、ご入会される杉森創さんの入会を祝して!!また、残念ながら退会が決定してしまった齋藤 仁さんの新天地でのご成功を祈っております。
- 矢澤貴光さん 入会を期に、姿勢の変化を楽しみに見ております。杉森 創さんの入会、心より歓迎しております。
- 岡山 昭さん 杉森さん、小川さん、入会おめでとうございます。一緒に楽しみましょう。
- 宇都木健太さん 杉森さん、ご入会おめでとうございます!!一緒に楽しみましょう!!妻の誕生日記念有難うございました。
- 松島 孝さん 杉森 創さんの入会を歓迎致します。
- 辺見哲郎さん 小川さん、ご入会おめでとうございます。同業として、竹内さん同様に仲良く、宜しくお願い致します。
- 堀越 豊さん 齋藤 仁さん、入会時より大変お世話になりました。新しい環境でのご活躍祈念致します。新会員の小川貴志さん、杉森 創さん入会おめでとうございます。

本日合計 105,000円 本年度累計 2,362,000円

卓話「東日本大震災における福島第一原発での派遣活動」
東京消防庁 立川警察署 警防課
課長補佐兼地域防災担当係長 消防司令 名越利昭様

日頃より当クラブには、消防行政に関しまして深いご理解とご協力頂き、誠に有難うございます。本日は防災講話という事でお招きいただきましたが、東日本大震災発生時の活動を紹介させて頂きませぬ。当時は渋谷にありますが、第三方面ハイパーレスキュー隊といって化学の専門部隊でしたが、第一次派遣隊として福島原発に行きました。現在まで20数回、前任に東村山署時代から防災講話をしておりまして、



途中から「これが最後」と言い続けておりましたが、今回署内異動となったため、本当にこれが最後になるかと思えますので、気持ちを込めてお話しさせていただきます。もう震災は8年前ですので、当時生まれた子供はもう8歳という事です。先日宿泊先で職員に、震災の時にまだ消防署に入っていない人と聞いたら、三分の一が手を上げました。それだけ昔の話という事ですが、皆様は当時の記憶が生々しく残っているかと思います。しかしかなり風化している事は否めません。皆様は当時の事を思い出されると思いますが、東日本で大きな被害が発生し、その際に派遣された訳ですが、ハイパーレスキュー隊は阪神淡路大震災を期に発足された部隊で、経験豊富な隊員が集められて災害対策やテロ対策にあたる部隊として、任務に就きました。ご記憶にある方もいるかと思いますが、中越地震の際には瓦礫に生き埋めになった2歳の男の子をハイパーレスキュー隊が救助しました。その際は立川にある第8方面の機動部隊が救助にあたりました。押しつぶされた車の中に、一番小さい隊員が入って子供を引き上げて救出しましたが、山中であるのに何故ベストを着用しているのかというと、前が大きな川だったので余震が来たら全員川に飛び込めという事で着用しておりました。運の良い事に1日半生き埋めの中無事救助され、ハイパーレスキュー隊が認知される様になりました。最初に立川で発足し第2方面城南島が続き、第3方面の渋谷が発足した後、第6方面の水難救助専門部隊、震災の後にも発足されました。最近では第7方面の江東区に、ヘリと連携するレスキュー部隊が発足しています。当時の報道では3月11日の震災の後、3月13日～14日ぐらいからレスキューの様子が放映されていましたが、当日には福島原発が危険であるとの連絡が入っており、その後原発での水素爆発がありました。その時点では福島に向かっておりましたが、直前の守谷サービスエリアで食料等調達していた際に爆発の状況を知り、作戦本部から状況が一変したので一旦引き上げるようにとの指示が来まして、引き上げました。3月17日9:48、報道でも流れておりましたが、自衛隊のヘリが4回上空より使用済み核燃料庫に向けて放水を行ないました。かなり厳しい条件の中で、ヘリが止まったまま放水すればかなりの確立で命中しますが、放射線量が高かったため、旋回しながらの放水となりました。その後警視庁と自衛隊で高圧放水車を近づけて放水する方法を取りましたが、瓦礫や水が届かないという問題があって思うように進まず、東京消防庁にも出動命令が下されました。当時の菅直人総理から、石原都知事を経て消防総監へと派遣命令がくだされ、3月18日に間違いなく派遣という事で、隊舎へ戻りそこから板橋区の第6方面へと向かいました。夜中に原発から40キロ付近へ向かいましたが、その際の情報では1時間に100ミリシーベルトが漏れていると

の情報でした。しかし地元の消防本部からの連絡では400ミリシーベルトであると聞きました。100ミリであれば1時間の作業が可能ですありますが、400ミリとなると15分しか活動が出来ず、その間に海から水を汲んでしご車に送水し、放水しなければならぬという事で、その訓練を40キロ離れた四ツ倉分署にて行ないました。ただ居合わせの隊員が急遽訓練し、現地へと向かいました。20キロ手前にあるJビレッジに向かい、そこで防毒マスク等を装着し20キロの距離を3時間程掛けて進みました。たかが20キロかと思われるかもしれませんが、途中地面が割れていたりという状況であったので、ゆっくり進んで行き3号機の使用済核燃料棒への放水を行ないました。活動限界は100ミリシーベルトで、致死量は3,000～7,000ミリシーベルトなのですが、現状の生活の中では0.06マイクロシーベルトが平均ですので、普段浴びる放射線量の約3,000倍を浴びました。普段数値の上からない計器が現地で音が鳴るのを聞きましたし、3号機の場所に計器を向けると、たちまち鳴ったのを今でも鮮明に覚えています。当初3号機の近くにポンプ車をつけて放水するという計画でしたが、津波によって岸壁に寄せられないという状況で、かなり遠い場所からポンプ車を付けて一つが50kgほどあるホースをトラックに載せて移動し繋げる、という作業になりました。しかしその途中に津波によって流されてきたタンクが横たわっており、トラックではなく手作業で繋げる事となったのです。結局7本のホースを手で伸ばすという過酷な作業でありました。自分は3号機での放射線量を計測するという任務でありましたが、無事任務を果たす事が出来ました。ポケット線量計を左胸に入れておりましたので、作業中はけたたましく鳴る計器にストレスもありましたが、現地が思いの外線量が低かったために、当初予定の1時間の作業が出来ました。当時の我々の頭の中では原発事故というとチェルノブイリを考えるのですが、一時派遣で現地に行った隊員の殆どが亡くなっておりますので、自分達もただでは済まないという事も感じていました。ですので現地に行く際に、家族には無事に戻れる可能性は少ないと話したのをはっきりと覚えております。しかし無事に活動を終えて20日に戻りましたが、都知事から御礼の言葉を頂きました。都知事も声を詰まらせておりましたが、当時情報が無い中で送り出した立場もあつたのだと思います。経験として良く分かった大切な事は、現地の方達の情報です。それがありませんと、自衛隊は自衛隊、消防は消防、警察は警察独自の限られた情報しかなく、どれも同じような程度のものでありますので、やはり消防団や自治会、地元で活躍されている方の情報を得て連携する事の大切さを改めて感じ、地域防災への教訓となりました。本日は短い時間で駆け足となってしまいましたが、ご清聴頂き有難うございました。

事務局／東京都立川市曙町2-34-6 小杉ビル8階
【TEL】042-525-4046 【FAX】042-529-2666
【HP】 <http://www.tachikawa-rc.org/>
【E-mail】 ttrc8082@sepia.ocn.ne.jp

例会場／東京都立川市曙町2-40-15 パレスホテル立川
TEL：042-527-1111
例会日／金曜日 12：30点鐘
会長／清水淳一 幹事／平井洋孝 会報担当者／端 晶弘委員